

三勲小だより



平成30年2月27日(火)

<朝礼の話>

三勲小学校では能学習に取り組み、伝統文化を継承することの大切さを学んでいます。1月から2月の朝礼では2週続けて、伝統文化について話をしました。

【1月29日(月)】

おはようございます。最近とても寒くて、岡山でも雪が降っていますね。

今日は珍しいものを見せてあげましょう。(雪げたを見せて)これは何か分かりますか。そうですね。げたです。でも普通のげたと少し違うところがあるでしょう。普通、げたには前と後ろの二つの歯があるのですが、これは後ろの歯一つしかありません。このげたは「雪げた」といって雪がよく積もる新潟県で300年以上前に考えられたげたです。雪の道を歩く時に歯が前と後ろに二つついてると、雪が間にはさまり、歯と歯の間に雪のおだんごができて滑りやすくなります。でも歯が一つだと絶対に雪がはさまることはないし、前の方に力が入るので、滑らないで歩くことができるのです。

この写真は新潟の職人さんが雪げたを作っているところです。桐という木の塊を削ってだんだんげたの形にしていきます。今ではこの伝統の技ができる職人さんはほとんどいなくなりました。

昔の人は着物を着ていたので、たくさんの人がげたを履いていました。でも、みんなが洋服を着るようになってげたを履く人が少なくなり、雪の日には長靴を履くようになったので、この雪げたがほしいという人はほとんどいなくなりました。そこで、この職人さんはいろいろ考えて、本当に履くのではなくて置物になる同じ形の小さい雪げたを作ることを見つけたのです。実は、このげたはこの職人さんが作った、置物のミニ雪げたなのです。

三勲小学校では能を伝統文化として受け継いでいますが、このような職人さんの技も日本の伝統として絶やすことなく受け継いでいくことが大切なので

すね。5年生の国語の教科書にでてくる「わらぐつの中の神様」のおみっさんがほしがっていたげたは、この雪げたです。このげたを手にとって見たい人は校長室に来てくださいね。



【2月5日(月)】

2月3日(先週の土曜日)は節分でしたね。恵方巻き(巻き寿司)を食べたり豆まきをしたりした人もいるでしょう。節分は季節が分かると書きます。ということは、節分が終わると冬から春になるということです。新しい春に、悪いものを追い払っていいことがありますようにという願いが込められた行事ですね。

さて、岡山で2月の行事として忘れてはいけなはこれです。(写真)そうです、西大寺観音院のはだか祭り(西大寺会陽)です。その日は、まわしを締めた男の人が、西大寺観音院というお寺に集まります。その数は9000人以上と言われてい



ます。三勲小学校の子どもの約15倍の人数です。とてもたくさんでしょう。狭いお寺の境内に集まるので、息ができないくらいぎゅうぎゅうになります。そして、夜の10時になると上の窓から住職さんが宝木というものを二本投げ落とします。そのたった二本の宝木を9000人の人が奪い合う、とても勇ましいお祭りです。その宝木を取った人は福男と呼ばれて、福(いいこと)があると言われてい

ます。観音院では、昔、紙でできたお札(ふだ)というお守りのようなものをみんなにあげていました。でも、ほしいという人がとても多くなったので、みんなに渡せなくなって、頭の上から投げ取り合うようになりました。そして、紙だと破れるので、宝木という、木でできたものが投げられるようになりました。奪い合う時に服を着ていたら自由に動かせませんね。だから、服を脱いでまわし姿で奪い合うようになったのだそうです。今は、大人だけでなく子どものはだか祭りもあります。

これを見てください。これは、その紙のお札です。お札は版画のように刷って作ります。これは、コピーなどではなく、昔本当に使われていた版画の板で刷ったお札です。観音院から、校長先生のお父さんお母さんの家に特別にいただいたものを持ってきました。

さて、先週は伝統を受け次いで雪げたを作っている職人さんのお話をしましたね。この西大寺のはだか祭りもなんと500年以上も前から続いていて、国の重要無形文化財に指定されています。たくさんの方がこの祭りを受け継いでいこう、盛り上げていこうと努力しているのでこんなに長く続いているのですね。

今日は2月17日に行われる西大寺のはだか祭りのお話をしました。もしかしたら皆さんのお家の人や知っている人でこのはだか祭りを見たり、実際にいたりする人がいらっしゃるかもしれませんね。そんな方からお話を聞いてみるのもいいですね。

<東京オリンピック2020大会マスコット選定投票に三勲小も参加しました!>



今、平昌オリンピックではは一杯戦う選手の姿が私たちに感動を与えてくれています。

さて、東京オリンピック・パラリンピックのマスコットの選定に小学校も参加できることになっているのは皆さんもご存じだと思います。本校も、この投票に参加しました。

本校では、学校で一つを選ぶのではなく、学級で、モデル案の中から一つを選ぶことにしました。それぞれの結果は教員が公式サイトへ入力しました。

選定にあたっては、モデルをよく見たり説明をよく読んだりして、単にこれが好きというだけでなく、オリンピック・パラリンピックの理念や価値が反映されているか、東京や日本らしさを感じられるか、個性的でデザインが優れているかなどを学級でよく話し合っ

<三勲小の一部>



前号でもお伝えしましたが、耐震改修工事が終わりに近づき、校舎の全容が見えるようになってきました。

少し張り出した部分や屋根のひさしの部分を焦げ茶色に塗装してもらったので、これまでと少し変わっており、なんとなく新

築のような感じになっています。学校に来られた時には是非ご覧ください。耐震改修以外の部分はあまり変わっていませんが、これからも、修理や補修をまめに行って、子どもたちが安全で快適に過ごせるようにしていきたいと思っています。3月15日の卒業式には、すべて取り払われて、駐車場も元に戻る予定です。

